

# 桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ



高校生ボランティア・アワード2024



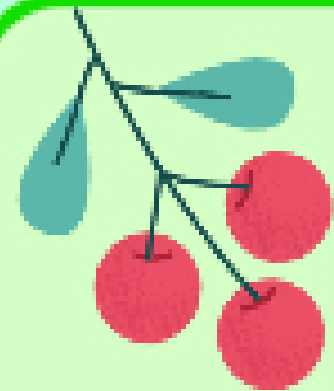
## 支援に距離は関係ない

～フェアトレードで繋ぐ未来～

フェアトレードとは、発展途上国等の経済的・社会的に弱い立場にある生産者の生活を向上させるために生産者の作った商品を適正な価格で販売する事です。

このようなフェアトレードの対象になっている国では紛争などにより、多くの人々が家や国を追われ、普通の生活をする事さえままならなくなってしまっています。

桐蔭学園インターアクトクラブでは、そのような人々を支援するため、主にタイやミャンマーの少数民族の方が作ったフェアトレード品を販売し、売上を少数民族の子どもたちの生活や学習に役立てています。



## フェアトレードカフェ



この活動はフェアトレードについてより多くの人に知ってもらうために何か自分達にできることはないかと思い、集まった横浜の高校生達によって始まりました。

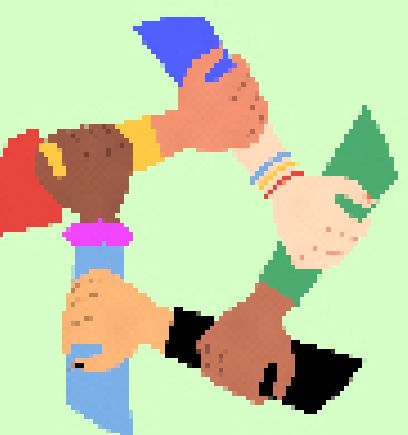
フェアトレードカフェでは、フェアトレード品を使った食品の販売とワークショップを行いました。フェアトレード品を使った食品の販売は、食品を購入していただくことで原産国を支援する活動です。

ワークショップでは、フェアトレードを広めるため高校生ならではの視点を生かすことをコンセプトにSNSを使った宣伝を行いました。様々な年代や背景を持つ人々が集まったため、アイデアもより多角的なものになり開催した自分達にとっても新たな気づきを得るきっかけとなりました。

フェアトレードへの知識を深め、活動の幅を広げる貴重な経験となります。



## フェアトレード商品の販売



私達は普段、多くの方々が集まり賑わう場所でフェアトレード品を販売しています。商品には多くのバリエーションがあり、手に取ってくださった方一人一人にあった商品を共に選んでいます。

### 私たちが活動を通して伝えたいこと

- タイやミャンマーなどの少数民族の貧困問題について興味関心を持って欲しい!
- 私達と一緒に商品やその背景について発信しましょう!!



手に取って頂いた皆様に、商品を通じて海を越えた繋がりを感じていただけるように日々活動に励んでいます。

1年生の4月から1年間活動してきて、幅広い世代の方々が、商品に興味を持ってくださった時や帰る時に笑顔になってくれた時に喜びを感じます。

直接言葉を交わさなくても、カエルのギョを鳴らして心が通じ合った瞬間、フェアトレードの魅力に惹かれます。



## これからも未来に繋げるために



### 支援に距離は関係ない

これが私達の合言葉です。実際にタイやミャンマーに行ったことがなくても、私達は心で繋がっています。

### 世界を笑顔に、幸せに

これらの活動目標を軸に私達はこれからもフェアトレード活動をはじめ発展途上国への国際協力を続けていきます。

今日もこれからも世界を笑顔に、幸せに



桐蔭学園インターアクトクラブボランティア活動を通じた人との関わりを大切に、1・2・3年生合わせて53人で募金活動からコンタクトレンズの空きケース回収まで、幅広く多様なボランティア活動しています。

